

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 18 週(4 月 28 日～ 5 月 4 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.56	(8.21)	↗	↗	↗	↓
2	インフルエンザ	1.61	(3.76)	↓	↓	↓	↓
3	水痘	1.38	(0.65)	↑	↑	↑	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	0.97	(1.32)	→	→	↗	↓
5	咽頭結膜熱	0.53	(0.71)	→	→	↘	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザは、定点当たりの数値が依然として 1.0 を上回っており、まだ注意が必要です。感染性胃腸炎は減少傾向です。

水痘(みずぼうそう)の定点当たりの患者数が奈良市保健所管内で 1.00→3.43、桜井保健所管内で 0.29→2.14 と増加しています。

水痘は空気を介して感染します。また、病原体が水疱(水ぶくれ)にいますので、接触感染もします。水痘の予防には発症者との接触をさけることが重要です。また、水痘にはワクチンがあります。1歳以上で受けられますが、任意接種ですのでかかりつけの医師に相談して下さい。水痘にかかったら、仕事や学校を休んで、通院以外の外出は控えて下さい。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

インフルエンザは小児ではほとんど無くなったが、中学生以上成人では流行しているところがまだみられる。B型が多いがA型も検出されている。

インフルエンザの流行時に減少していた感染性胃腸炎が再び流行してきた。ロタウイルスは無く、ノロウイルスと思われる。水痘も流行が始まっている。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数はこの時期にしては多い。

インフルエンザがまだ小流行中。殆どは B 型であるが、A 型も混在。

幼稚園では先生も感染して休んでいるという談話あり。

感染性胃腸炎も小流行中。嘔吐が主のノロ様で経過は短く軽症。

A 群溶連菌感染症が僅かずつ見られる。

ヘルパンギーナが1例あった。

南部地区(県立五條病院小児科)

インフルエンザはほとんどみられなくなった。例年流行するロタウイルス胃腸炎も少ない。

朝夕の気温変化に伴う体調不良と思われる普通感冒が多い。なかに高熱を出す咽頭炎があるが、インフルエンザ、アデノの迅速検査は陰性のことが多い。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 18 週 4 月 28 日 ~ 5 月 4 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	3	3	
インフルエンザ	87 (1.61)	20 (1.82)	10 (0.63)	22 (2.00)	31 (2.82)	2 (1.00)	2 (0.67)	
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	18 (0.53)	2 (0.29)	6 (0.60)	4 (0.57)	6 (0.86)			
A群溶連菌咽頭炎	33 (0.97)	17 (2.43)	4 (0.40)	5 (0.71)	7 (1.00)			
感染性胃腸炎	223 (6.56)	71 (10.14)	57 (5.70)	34 (4.86)	56 (8.00)	2 (2.00)	3 (1.50)	
水痘	47 (1.38)	24 (3.43)	7 (0.70)	15 (2.14)	1 (0.14)			
手足口病								
伝染性紅斑	6 (0.18)	4 (0.57)		2 (0.29)				
突発性発しん	8 (0.24)	2 (0.29)		4 (0.57)	2 (0.29)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	2 (0.06)	2 (0.29)						
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.14)	1 (0.10)	1 (0.14)				
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								-
流行性角結膜炎	1 (0.11)	1 (1.0)						-
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								-
無菌性髄膜炎								-
マイコプラズマ肺炎								-
クラミジア肺炎								-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)				1 (1.00)			-

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核9件(奈良市2件、郡山1件、桜井6件)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(郡山1件)
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1件)

❖ 第 18 週のトピックス ❖

◆ 医療従事者のためのHTLV-1検査妊産婦支援Q&A(県庁保健予防課)

<http://www.pref.nara.jp/item/118714.htm>

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男			1		2	2	4	4	3		1	4	8	1	4	5	2	1	1		43	5878
	女			2		4	1	4	2	4	2		9	9		4	2	1				44	5905
RSウイルス感染症	男																						127
	女																						107
咽頭結膜熱	男			1	1	3		2	1			1										9	139
	女		1	3				3			1				1							9	115
A群溶連菌咽頭炎	男		1		1			4	2	4	2		2									16	266
	女				2			2	2	4	4	4	3									17	242
感染性胃腸炎	男	1	5	16	12	11	15	9	10	11	6	2	14	5	9							126	1627
	女	4	5	11	10	7	6	7	5	10	4	2	4	6	16							97	1474
水痘	男			2	5	7	6	2	1	2	2		1									28	280
	女			3	4	2	1	2	3	1	2		1									19	242
手足口病	男																						3
	女																						4
伝染性紅斑	男			1																		1	15
	女			1			1	2		1												5	22
突発性発しん	男		2	1																		3	86
	女		2	1	1			1														5	55
百日咳	男																						
	女																						
ヘルパンギーナ	男							1		1												1	11
	女																					1	8
流行性耳下腺炎	男							1														1	28
	女					1					1											2	25
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男																						25
	女																					1	35
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						3
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						1
	女																						1
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						11
	女				1																	1	8

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〻 過去10年平均

